

平成30年度 竹の台地区防災ワークショップⅡ 実施結果

1. 日時 平成30年9月2日（日）9：30～12：00
2. 場所 竹の台小学校会議室
3. 参加者 合計 33名
 - ・自治会・管理組合 19名（1丁目7名、2丁目4名、3丁目2名、4丁目2名、5丁目3名、6丁目1名）
 - ・防コミ役員3名 ・竹の台地域委員会役員 10名 ・青少協1名
4. 配布資料 : 次第
5. 内容

丁目ごとの島へ（1丁目、2丁目、3・4丁目、5丁目、6丁目）

(1) あいさつ～竹の台地域委員会 覧委員長



(2) 自己紹介 名前、所属団体、役職、夏の思い出

(3) 「一斉避難訓練ふりかえり」より。避難訓練参加世帯数と参加者の集計



【様式1(改訂)】 小学校への参加人数 平成30年9月1日(土)
平成30年度 竹の台一斉避難訓練 参加人数集計表

	自治会・管理組合名	参加	平成30年度	世帯数	人数
1丁目	1 竹の台1丁目自治会	○	竹の東公園	26	37
	2 三井西神中央パークスクエア管理組合			2	3
	3 野村西神中央住宅管理組合		クラブハウス	6	8
	4 西神中央パークテラス管理組合	○		7	6
2丁目	5 竹の台2丁目自治会	○	竹の中山園	7	7
	6 メアータウン竹の台管理組合	○	竹の南公園	7	7
	7 ハイライフ竹の台(2)管理組合	○	コロンビアベース	5	5
	8 竹の台住宅自治会		竹の南公園		
	9 シティハイブ竹の台自治会		竹の中山園		
	10 アルファステイツ西神中央管理組合	○	竹の南公園	3	5
3丁目	おひさまびび	×	竹の南公園		
	11 竹の台3丁目自治会	○	竹の南公園	7	8
	12 ホープタウン竹の台V管理組合	○	黒島原	6	6
4丁目	13 西神SVビルレジ管理組合	×	バンクーバー村 ロータリー		
	14 竹の台4丁目自治会	○	竹の南公園	26	59
	15 竹の台5丁目自治会	○	竹の地蔵公園	9	25
	16 ハイライフ竹の台管理組合	○	竹の北公園	6	9
	17 ホープタウン竹の台I管理組合	○	竹の地蔵公園	7	9
5丁目	18 ホープタウン竹の台II管理組合	×			
	19 ホープタウン竹の台IV管理組合		ホープタウン竹の 南島原		
	20 ホープタウン竹の台V管理組合				
	21 エコシティ西神中央管理組合		黒島原	1	1
6丁目	22 ラッフェル西神中央管理組合	×	黒島原	1	1
	23 アルファステイツ管理組合		管理組合		
	24 ブラウズシティ西神中央管理組合	×	自主管理公園	3	5
	25 ジオ西神中央管理組合	×	竹の北公園		
	※NO 記入びび	×	竹の北公園		
合計				192	197

(4) ワークショップ

①避難訓練「良かった点」「悪かった点」を模造紙にまとめて発表

【まとめる】



【発表】



良か、大莫 < 6 丁目 > 悪か、大莫

団体運営

役員内での
決まりを通知し
不明点は
実施出来ず。

一般参加者
一人一人に
早くとれた

◎

「この地区は
防災意識が高い
と思いきなり
参加者が多い」

悪か、大莫

避難訓練に
対する危機

マンション住居の
意識が低い
(地域での訓練)

広報の不足

積極的な参加
と参加者活動が
団体内の災害
広報が不足

指示板などの
案内工作
が不足

運営所感

暗い夜
(イベントに
必要)

年々、スウェー
出来ている。

暗や外に
体験法

参加者が
皆20代

AED

AED訓練を
行いたい。

救急に
興味呼吸
が思いついた

避難物販

一次避難場所が
分らない等、
団体内で団員
工夫が必要
避難経路等

一次避難場所
が複数記
入。(但し
40分以内)

避難場所
の普及に
居るのか?

安全
に配慮?

運営

地域中心の
意識が
低いのか?
(訓練の時)

若年世代
が参加
(訓練の時)

時間不備

終了時間
の厳格化

参加者が
少なくな
ってきた

外に準備
して来た

<まとめ>

項目		良かった点	悪かった点		
1	実施時期・時間帯	実施時間 (夜間・食事時)	<ul style="list-style-type: none"> 初めての夜間訓練ができた 昼間と違う体験ができた 夜の状態が判明した 仕事の後の方も参加できた 停電の体験ができた 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども・高齢者・主婦が参加しにくい 	
		実施時期		<ul style="list-style-type: none"> 子どもの夏休み中が良い 秋が良い 	
2	気候・気温	気温	<ul style="list-style-type: none"> 涼しかった 	<ul style="list-style-type: none"> 雨天の場合の実施判断 	
		気候	<ul style="list-style-type: none"> 雨も降っていないかった 雨天の場合の不備が判明した 		
3	参加者・人数	参加人数	<ul style="list-style-type: none"> 予想より多かった 	<ul style="list-style-type: none"> 少ない(団体として) もっと参加してほしいかった 	
		高齢者	<ul style="list-style-type: none"> 高齢の方が参加して下さった(毎年) 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの参加が少ない 	
		団体		<ul style="list-style-type: none"> 団体による意識に差があった マンション住民は意識が少ない 役員以外は同じ人の参加が多い 	
4	プログラム	本部連絡員	<ul style="list-style-type: none"> 先行して参集したのでスムーズにできた 	<ul style="list-style-type: none"> 本来は? 集合時間が早すぎた 仕事を考え集合時間を 本部連絡員を出す意味が伝わっていない 	
		受付	<ul style="list-style-type: none"> 人数集約がやりやすく受付がスムーズだった 		
		世帯カード	<ul style="list-style-type: none"> 世帯カードが小さくて良かった 	<ul style="list-style-type: none"> 集め方がわかりにくかった 	
		待ち時間		<ul style="list-style-type: none"> 集合してから手持無沙汰 	
		集計の時間		<ul style="list-style-type: none"> 集合から集計までの時間が少ない 	
		不参加団体		<ul style="list-style-type: none"> 不参加団体への対応が不十分 	
		手順		<ul style="list-style-type: none"> 手順の不徹底 	
		救急救命講習	<ul style="list-style-type: none"> 救急救命への意識が高まった 		
5	準備	シェイクアウト訓練	<ul style="list-style-type: none"> 一時避難場所でもできた 		
		団体	<ul style="list-style-type: none"> 早めに避難訓練担当を決め事前に準備・周知ができた(回覧・ポスティング等) 役員間の役割分担が決まっていた、スムーズに運んだ 役員内では決められた通り、スムーズに実施できた 予め班ごとの名簿と看板を作成していた 	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に参加を求める活動が団体内で必要 広報・周知不足 掲示板だけの案内では徹底されない 一時避難場所がわからない人がいた 	
6	竹の台 あんぜん安心ネット	個人	<ul style="list-style-type: none"> 防災グッズの準備ができていない人のギャップを知り、必要性を痛感した 	<ul style="list-style-type: none"> 靴袋がない人がいた。準備する? リュックではなく、手提げ袋で参加していた人も 	
		受信できない		<ul style="list-style-type: none"> 訓練メールが入らなかった 登録者が少なかった 	
7	一時避難場所で	複数団体利用		<ul style="list-style-type: none"> 複数団体が利用する場合はゾーン分けなど 	
		暗い		<ul style="list-style-type: none"> 暗くて把握が難しかった 	
		ネコ糞		<ul style="list-style-type: none"> ネコの糞がたくさんあった 	
		雨天対応		<ul style="list-style-type: none"> 雨天の場合はさらに参加者確認や集計が難しい 	
8	避難経路	避難所へのタイミング		<ul style="list-style-type: none"> いつまで待てばよいか 	
				<ul style="list-style-type: none"> 赤道がデコボコだった。高齢者の意見を聞くこと良い。 	
9	体育館で	飲物	<ul style="list-style-type: none"> 飲物があった 		
		イス	<ul style="list-style-type: none"> イスが用意されていた 		
		誘導	<ul style="list-style-type: none"> 学校入り口での赤色灯誘導 		
		温度		<ul style="list-style-type: none"> 蒸し暑い 	
		トイレ		<ul style="list-style-type: none"> 女子トイレのペーパーが少なかった 	
10	安全確保	ケガがない	<ul style="list-style-type: none"> 整列、安全にスムーズに移動できた けが人がいなかった 		
11	自治会等役員として	マニュアル	<ul style="list-style-type: none"> 避難全体の流れがわかった 避難経路を知ることができた 避難所での状況をイメージすることができた 		
		リーダー		<ul style="list-style-type: none"> リーダーとしてプレッシャーが大きかった 	
12	コミュニケーション	協力	<ul style="list-style-type: none"> 地域の方の顔がわかった 地域のコミュニケーションが図れた 新しい役員と仲良くなれた 参加者が協力的だった 照明やプラカード持ち上げを手伝ってくれた 役員が自主的に役割を見つけてくれた 		

②改善点・引き継ぎ項目

○各団体で

	団体名	引継ぎ・改善事項
1	竹の台1丁目自治会	・雨天の際の対策
2	三井西神中央パークスクエア	・参加者を増やす。団体として参加する意識を持つ。
3	野村西神中央住宅管理組合	<ul style="list-style-type: none"> ・一時避難場所での救護の必要性の確認が必要 ・もう少し参加者の呼びかけが必要 ・ポスターの貼りだしが必要では？ ・道路のデコボコ注意をよびかける ・クラブハウスのカギを持っておく ・三井・三菱との連絡を事前にとっておき、一時避難場所に集まった時の各団体の把握の仕方、場所などを確認しておく ・役員で訓練前に1回集まって役割分担や話し合いをしておくことに大きな意義があった（西村さん）
4	西神中央パークテラス管理組合	・事前参加の呼びかけを
5	竹の台2丁目自治会	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者を増やすために参加者には防災グッズを配るとかインセンティブを考えた ・役員は毎年変わる。リーダーと本部連絡員といった役割がはっきりしないので、自治会規約か何かで決める必要があるのではないか。
7	ハイライフ竹の台（2）管理会	引継ぎ <ul style="list-style-type: none"> ・管理会として訓練に参加すること 改善 <ul style="list-style-type: none"> ・訓練についてのPRに努めて、参加人数を増やす ・参加者に全体としてやるべきことを周知・当日の流れをスムーズに決められるように
10	アルファステイツ西神中央	・一時避難場所での集合場所を決める
11	竹の台3丁目自治会	<ul style="list-style-type: none"> ・広報の徹底 ・地域委員会と自治会が主催であることを住民に徹底する
14	竹の台4丁目自治会	<ul style="list-style-type: none"> ・事前周知は回覧と個別配布で ・今年度役員は次年度のサポートをしては ・名簿作成とブロックのプラカード作成。備品として引継ぎできれば。
15	竹の台5丁目自治会	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に役員への説明と役割分担 ・各班で整列しての移動 ・回覧版を2回まわす ・班ごとのプラカード・自治会のぼりの使用 ・役員の自主的な役割（誘導、段差注意、高齢者への配慮等） ・参加者でシェイクアウト訓練や避難の流れの説明 ・一時避難場所のゾーニング ・先頭はゆっくり歩く
16	ハイライフ竹の台管理会	・回覧時期・回覧回数（今回は7月1回のみ）
17	ホープタウン竹の台Ⅰ管理組合	・避難経路はご高齢の方の意見を取り入れる必要がある
22	ラ・フォルテ西神中央管理組合	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の訓練に参加してほしい ・個人での参加を呼びかけ意識を高める
25	ジオ西神中央管理組合	<ul style="list-style-type: none"> ・広報の工夫 ・竹の台防災コミュニティの回覧版に一時避難場所・避難経路を添付し掲示を行う

A4用紙に、各団体で「引き継ぐこと」「改善すること」を書いて発表



○全体で

・本部連絡員の事前参集について

- 目的： 1. 訓練の進行をスムーズに（去年は同時に来る形で混乱）
2. 一時避難場所での待ち時間短縮
3. 本部補助（設営など）

意見：本部連絡員の役割と意義を明確にし、参集時間を考慮する
本来は発災と同時に参集するので、混乱が生じる

・避難所に集合してから全部が集まるまで手持ち無沙汰

原因：AED 練習用人形は、担架作成用毛布は準備していたが、インストラクターの手が空かなかった
去年は各団体にお任せした（自己紹介など）

改善案：DVDを見る（問題点→マイクで放送をしているため、音を出すのが難しい）

防災体験用ブースを設ける→スタッフは手一杯なので、外部に依頼する必要あり

・学校・区役所・警察等と連携した訓練の実施

・実施時期や時間について

9月1日「防災の日」で、マスコミでも防災の記事が多く、住民の防災への関心が高まっている
時で良かった。

